土木学会　第3回インフラ産業グローバルビジョン講演会

世界のリーダーと語る インフラ産業のグローバル戦略

ー世界のコンセッション事業における土木技術者の多様な役割ー

海外においては、建設業界がコンセッション事業の事業主（Concessionaire）として、また、請負者として活躍する例が多くなっている。我が国においても2015年12月には、国が100%出資する関空の運営会社・新関西国際空港株式会社は、仏建設大手VINCIの子会社であるバンシ・エアポートとオリックスを中心とした企業連合に関空と伊丹空港の運営権を売却する正式契約を結んだ。

今回のインフラ産業グローバルビジョン講演会は、世界のインフラに関わるコンセッション事業に関する知見を有する講演者より、コンセッション事業の形成、事業への参画の事例やリスク管理に関して講演、議論いただき、我が国のインフラ産業関係者のコンセッション事業参画促進の一助とすることを目的として開催する。

日　時　2016年10月3日（月）　13:30～19:30（意見交換会18:00～19:30）

プログラム

12:30	開場
13:30～13:40	開会挨拶（土木学会建設マネジメント委員会委員長：三百田敏夫）
13:40～14:25	講演1：「中南米におけるコンセッション事業と各プレイヤーの役割」（仮題） Kevin Tynes（Nippon Koei Latin America-Caribbean Co., Ltd.会長, 日本工営株式会社執行役員）
14:25～15:10	講演2：「EPCコントラクターのコンセッション事業請負のための要求事項と韓国の動き」 金相勳（Kim, SangHoon）（元韓国大宇建設株式会社副社長、韓国海洋水産部港湾局局長）
15:10～15:55	講演3：「建設業の立場から見たコンセッション事業のリスク管理」（仮題） 坪井健太郎（フレッシュフィールズブルックハウスデリンガー法律事務所シニアリーガルコンサルタント）
15:55～16:15	休憩＆パネルディスカッション準備
16:15～17:45	パネルディスカッション：「コンセッション事業参加のために、日本のインフラ産業は何をするべきか？」（仮題） パネリスト：講演1～3の講師および小澤一雅（東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻教授）、 安間匡明（株式会社国際協力銀行取締役）、平井節生（国土交通省総合政策局海外プロジェクト推進課課長） ファシリテーター：福本勝司（株式会社大林組常務執行役員）
17:45～17:55	閉会挨拶（土木学会専務理事：塚田幸広）
18:00～19:30	意見交換会

※講師、講演タイトル、時間等は変更になる場合がございますがご了承下さい。

使用言語　日本語、英語　（日英同時通訳）

定　員　250名（先着順）

会　場　東京大学　本郷キャンパス 武田先端知ビル 武田ホール（東京都文京区弥生2-11-16）

主　催　公益社団法人土木学会　建設マネジメント委員会/ 国際センター

後　援　国土交通省、一般社団法人 海外コンサルタンツ協会、一般社団法人 海外建設協会

参加費　会員（個人・法人）5,000円、一般8,000円、学生会員1,000円、学生非会員3,000円
（全て意見交換会参加費を含む）

申込方法　土木学会ウェブサイト本部主催行事参加申込サイトよりお申込み下さい。
http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp
FAXでお申し込みの場合は、土木学会本部主催行事参加申込書(PDF)をダウンロードして頂くか、学会誌巻末に掲載されている「本部　行事参加申込用紙」をご使用頂き、必要事項をご記入の上お申込み下さい。

問合せ：　公益社団法人　土木学会 国際センター　川上透
TEL: 03-3355-3452 / FAX: 03-5379-0125 / E-mail: kawakami@jsce.or.jp

※本行事はCPDプログラムに認定されています